

盛岡市雇用推進計画の改定について

平成18年2月20日
雇用対策推進局

1. 計画改定の意図

市は平成16年2月19日に概ね5年間を推進期間とする「盛岡市雇用推進計画」を定め、地域経済の活性化と雇用の拡大に全庁を挙げて取り組んでまいりました。

計画策定時の平成16年2月における有効求人倍率は、全国では0.76倍、岩手県内では0.57倍、盛岡公共職業安定所管内では0.67倍であり、全国の完全失業率は5.0%でありました。平成17年12月現在の有効求人倍率は、全国では1.00倍、岩手県内では0.70倍、盛岡公共職業安定所管内では0.76倍と改善しております。また、完全失業率も計画策定時より0.6ポイント改善し4.4%となっております。

平成17年3月卒業の盛岡公共職業安定所管内の高校生の就職率は97.9%となり、前年を3.1ポイント上回っており、平成18年3月卒業予定の高校生の平成17年12月現在の就職内定率は、56.3%と前年同月比4.9ポイントの増加と大幅な改善が見られます。

また、県とともに設置しました『いわてヤングジョブサポートセンター』は、平成16年7月から国の事業採択を受けたことにより『ジョブカフェいわて』と名称を変え、スタッフを充実して若年者の就業支援活動により多くの成果を上げております。

平成18年1月に玉山村と合併したことから、玉山区の雇用推進と、これまでの実績と新たな計画を加えて、盛岡市雇用推進計画の改定を行うものであります。

2. 各分野の新たな取り組み

(1) 企業活性化の支援と民間活力による雇用創出推進

商工業、観光、農林業の推進強化

新しい盛岡市の地域産業振興を推進するための「盛岡市産業振興懇話会提言書」が平成17年12月に提出されたので、本提言を十分に参考としながら平成18年度以降に実施する各種事業の中で具現化に努めます。

盛岡ブランドの形成

〈盛岡のブランド化推進〉

◇ 地域ブランドの形成、強化

地場産品や歴史的建造物等で構成される街並みにとどまらず、現存する盛岡ならではの「資産」を「もりおか暮らし物語」の一言に集約し、新たに付加価値を持たせ「盛岡ブランド」を形成し、強化することで、他地域での盛岡の認知度を高め、観光客等の誘客や地場産品の普及に努めます。

◇ 地域ブランドの開発促進

「もりおか暮らし物語」のイメージに適合する商品やパッケージ、デザイン等の開発を促進し、必要な支援を行うことにより、製造業や観光関連産業等の活性化を図ります。

(2) 市の行政活動による雇用創出推進

若年者雇用の促進

＜ニートへの支援＞

最近、問題となっている学校に行かず、職業訓練も受けず、就業もしていない人々（ニート）への支援を進めます。

・若年者の就職を支援する『ジョブカフェいわて』は、国の補助が18年度で終了することから、19年度からは県とともに運営を進めます。

(3) 玉山区の雇用創出推進

都市計画に定める用途地域である工業地域への企業誘致に努めます。また、都市計画法に基づく市街化区域編入後の近隣商業地域に大型商業施設の立地を進め、雇用拡大を図ります。

改定後の目標値（雇用創出人数）

（単位：人）

体系分類	当初目標	改定後目標				当初目標との差
		平成15.16年度実績値	平成17年度見込み値	平成18.19年度目標値	合計	
市の事業による雇用創出推進	4,843	2,052	1,390	2,729	6,171	1,328
企業活性化の支援と民間活力による雇用創出推進	2,006	767	109	844	1,720	▲286
市の行政活動による雇用創出推進	2,837	1,285	1,281	1,885	4,451	1,614
国・県の制度による雇用創出推進	243	307	—	—	307	64
市単独費による雇用創出推進	—	2	83	70	155	155
玉山区の雇用創出推進	—	—	—	410	410	410
合計	5,086	2,361	1,473	3,209	7,043	1,957

目標である平成19年度には、7,043人を雇用創出することとなります。